

妻に叱られて②

「ある年の人事異動」で妻に叱られたこと

土居 修



卒業式には出席しなかつた。早朝から懸命に荷造りをし、午後になつて大学へ。式典を終えてキャンパスにあふれる、過行く青春の群像。幾人かに締めくくりに挨拶をし、SBに続く薄暗く退嬰的な階段を上がつた。



「熾烈な4年間」を過ごした窪川高校

薬指でなぞつた。こみな先生になつてね」といふ。あけてくる抒情。振り払うようにして入室。インクで汚れた長机に、数本の一升瓶を見た。青春を教え、酒を教え、そのついでに文学を語り合つた後輩たちのやさしさにほだされて、飲み始める。しばらくして、同級生もやつてきた。男三人に女二人。「夜を徹して飲めませぬ」と後輩のひとりが、うれしそうにいう。

「あほなことをいうな。俺は、明日帰るんだよ」夕闇が迫り、見送る彼らに左手で応え、学舎を振り仰いで帰途に就いた。JR山手線・赤羽線(当時)と乗り継ぎ、アパートに戻る。街灯のほのかな明かりがこぼれている4畳半に裸電球をつけたとき、なぜか、涙がこぼれてきた。

2年間の時間講師を経て、1984年4月、「素敵な先生になさるぞ」と誓つて須崎高校定時制に着任。4年後に梶原高校に異動。4年の歳月を過して、須崎高校定時制に里帰り。5年間勤務したのちに、窪川高校へ。熾烈な4年間を経て、須崎高校久礼分校に移つて7年。閉校とともにふたたび梶原高校に舞い戻り、最長となる10年間を兼し、2018年に退職。

「素敵」であつたと思つた。「魅力」も兼備してゐたのではなからうか。だが、それはさておき、窪川高校への転勤に係つて「妻に叱られた」こと。異動が発表された数日後、住居の相談のためには私は単身、窪川高校を訪れた。「世帯用がひとつ、あるにはあるんですが、しかし、古い木造ですよ」

「素敵」であつたと思つた。「魅力」も兼備してゐたのではなからうか。だが、それはさておき、窪川高校への転勤に係つて「妻に叱られた」こと。異動が発表された数日後、住居の相談のためには私は単身、窪川高校を訪れた。「世帯用がひとつ、あるにはあるんですが、しかし、古い木造ですよ」

「素敵」であつたと思つた。「魅力」も兼備してゐたのではなからうか。だが、それはさておき、窪川高校への転勤に係つて「妻に叱られた」こと。異動が発表された数日後、住居の相談のためには私は単身、窪川高校を訪れた。「世帯用がひとつ、あるにはあるんですが、しかし、古い木造ですよ」